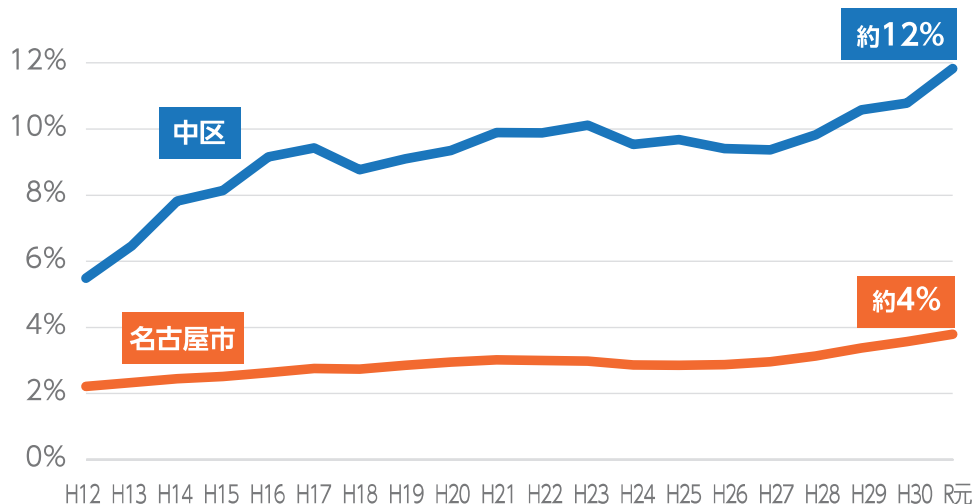


区の特性と課題

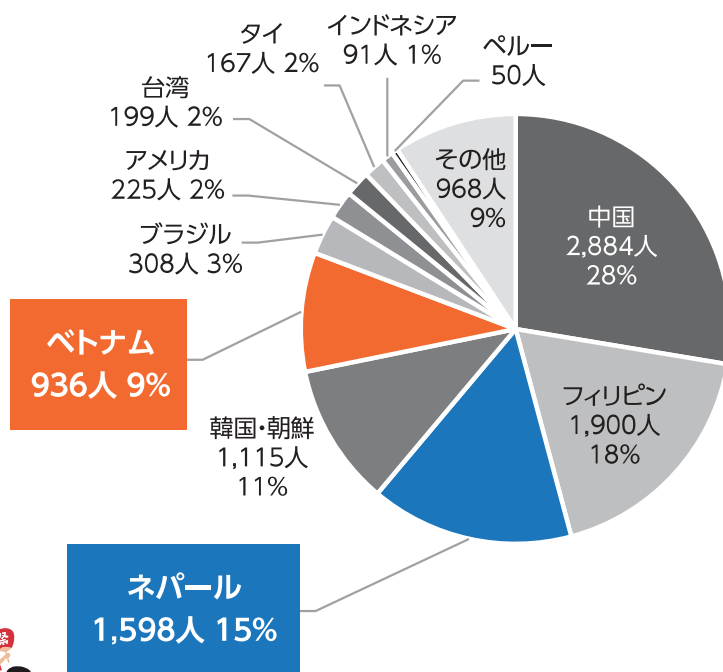
▶ 9人に1人以上が外国人

外国人人口の推移 (各年10月1日現在)



中区における外国人区民の割合が11.8%（令和元年10月1日現在）と、**16区の中で1番高くなっています。**また、**全国の行政区の中でも3番目に高い比率**です。入国管理法の改正により今後も増加することが予想されています。

外国人区民の国籍別内訳(令和元年10月1日現在)



中区に住む外国人の国籍別内訳を見てみると、中国、フィリピン、ネパールの順番に人口が多くなっています。

中区の特徴としては、**ベトナムやネパールからの留学生が多く**住んでおり、最近では**ますます増加傾向**にあります。

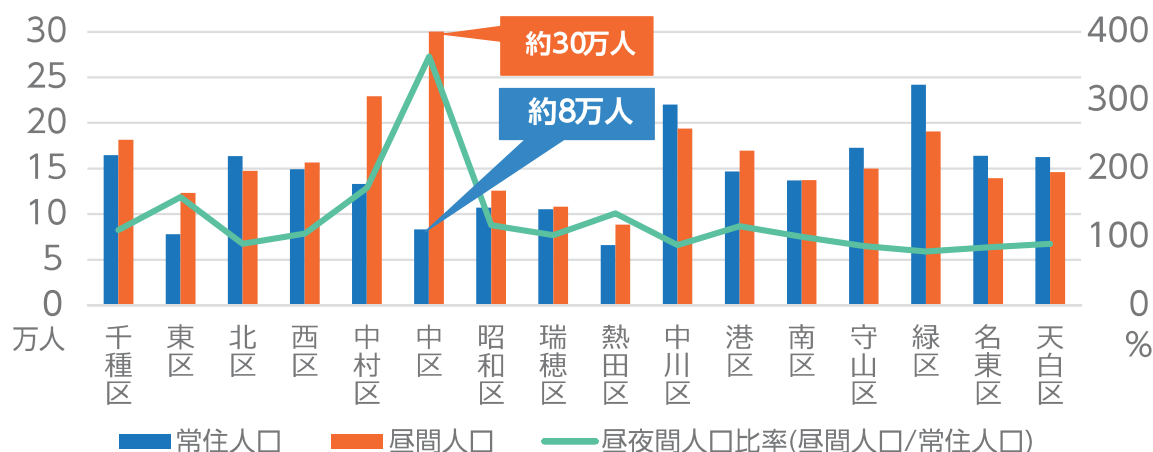


区の特性と課題

▶ 他区よりも突出して高い昼夜間人口比率

中区では、通勤・通学による流入のため、**昼間は夜間の約4倍**まで人口が膨らみます。通勤・通学以外にも、観光・買い物・ビジネス等の目的で多くの人が区内を訪れているため、実際には、さらに多くの方が中区を訪れているものと考えられます。

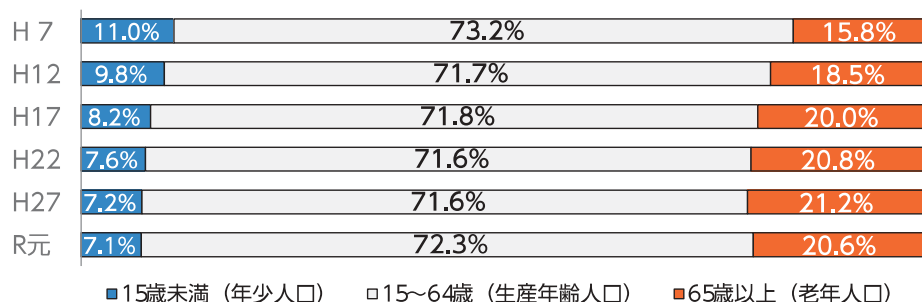
区別の昼夜間人口比率(平成27年10月1日現在)



▶ 進む少子・高齢化

中区の**年少人口比率は7.1%**と年々低くなっています（**16区中最低**）。また、老年人口比率は20.6%と**約5人に1人が高齢者**であり、**ひとり暮らし高齢者の割合は22.7%**と、**16区の中で1番高**なっています。（令和元年10月1日現在）

年齢別人口比率の推移



人口ピラミッド

